

三つ葉しんぶん

「三つ葉しんぶん」は患者さん・ご家族と、三つ葉医師・スタッフの双方向通信です。

新・三つ葉在宅クリニックの誕生 ——山中と栄が統合し、御器所へ移転します。

三つ葉在宅クリニック山中(昭和区山中町1-30)と三つ葉在宅クリニック栄(東区東桜1-1-6)は、2011年10月1日付けで「三つ葉在宅クリニック」として統合し、新たに出発します。また、事務所を昭和区の御器所へ移転します。

三つ葉は2007年から二つのクリニックに分かれていましたが、診療圏の中心に近いところで再び一つになり

ます。このことにより、緊急時の対応も、よりきめ細かく行えるようになります。また、院内での情報共有やチームとしてのやりとりも、さらに活発になっていくはずですよ。

医師・スタッフともに心機一転、新しい場所で、今まで以上に地域の患者さん・ご家族、介護スタッフの方々に安心していただけるよう、がんばってまいります。どうぞこれからもよろしくお願ひいたします。

●新しいクリニック(10月1日より)

名称: 三つ葉在宅クリニック

住所: 名古屋市昭和区御器所通3-12(〒466-0015)

御器所ステーションビル3階

みつば
電話: 052-858-3281

10月1日以降、電話番号・住所が変わりますのでご注意ください。

※クリニックの電話受付時間は、月～金曜日 8時45分～18時45分です。その他の時間帯は、留守番電話に切り替わっています。緊急の場合は従来通り、三つ葉緊急携帯にお電話ください。



地下鉄 鶴舞線・桜通線「御器所」駅下車
2番出口より徒歩1分

同じビルには3階になごや福祉用具プラザさん、4・5階に名古屋市シルバー人材センター(東部支部)さんが入っています。

まだまだ暑いので、水分補給には要注意です。

夏の暑さに疲れたころの残暑は、思いのほか身体に負担をかけています。水分補給はこまめに行いましょう。お茶なら、カフェインが入って利尿作用のある緑茶より、麦茶やほうじ茶をちょこっと冷めたくらいで飲むといいですよ。機能性飲料(スポーツドリンク)では、カロリーが控えめで電解質のバランスの良い「DAKARA」などがお勧めです。



(神谷・医師)

三つ葉先生の今月のひとこと

「喉が渴いた」と感じる前に、お茶を一杯飲んでちょ〜!



患者さんの言葉に元気をもらいました。

在宅医療の世界にやってきて1年半。毎日が楽しく、あっという間に過ぎていきます。いろいろな患者さんと出会い、かかわっていくことが好きです。

とはいえ、時には気持ちが沈んでしまうこともあります。そんなとき、ある患者さんが私に、短歌を詠んでくださいました。

昼夜無く 患人みせし その姿
医道のみちの 誠なりけり

この患者さんとは、世間話など、さまざまなこととお話しました。ある日、私が少し元気がなかったのを見破られてしまい、この句をいただきました。

その患者さんは6月下旬に永眠されました。あの時いただいたメモは、今も私のパソコンに貼ってあります。すっかり擦り切れてしまいましたが、これを見ると、元気が湧いてきます。(坂野・医師)



ここでは医師やスタッフの日々の想い・雑感を時々綴りたいと思います。タイトルは、鎌倉時代の僧・日蓮の「桜梅桃李の己己の当体を改めずして無作三身と開見す」という言葉から拝借しました。桜、梅、桃、李(スモモ)ともに、独自の美しい花を咲かせるから、それぞれの特徴を改めることなく、生かしていくとの意味です。一人ひとりの患者さんの人生を敬うという、私たちの気持ちを表しています。

● 掲示板 ●

●次回家族会のお知らせ

今回は11月10日(木)に開催します。場所はいつもと同じ、今池ガスビル7階D会議室、時間は13時半～15時半です。お気軽にご参加ください。

お問い合わせ・お申し込みは、お電話またはFAXにて、医療ソーシャルワーカーの新田(にった)までお願いします。

●お便りありがとうございます。

三つ葉の医師・スタッフへのお便り、ご意見・ご質問などを、同封のハガキにて、どうぞお寄せください。電子メールでも下記アドレスにて受け付けております。

ご家族の方のお名前を書いていただく場合には、お手数ですが患者さんのお名前も添えていただくと助かります。

今月のつぶやき



僕たちは医療行為はできないので、「患者さんのお役に立てるだろうか」と思うことがあります。そんなとき、医師や看護師でも同じように感じることもあるけれど、一人ではできないことも「チーム」でならできると教わりました。それぞれができることを一生懸命やるのが大事です。患者さん・ご家族とご一緒に、みんなでやっていきましょう。(吉田・診療サポート)



ご病気に対し、ずっと否定的だった患者さんが、ある日「リハビリをしてみようかな」と前向きな表情を見せてくださいました。とても嬉しかったです。(吉川・診療サポート)

医療法人 三つ葉

三つ葉在宅クリニック 山中

〒466-0828 名古屋市昭和区山中町1-30
TEL 052-752-2201 FAX 052-752-2556

三つ葉在宅クリニック 栄

〒461-0005 名古屋市東区東桜1-1-6
住友商事名古屋ビル 8F
TEL 052-950-2671 FAX 052-950-2672

tsubuyaki@mitsuba-clinic.jp



■ 私たちの理念

最高の在宅サービスを提供し
安心して暮らせる社会を創造する

■ 安心を支えるために...

いつでもお応えします
患者さんが中心です
地域で支えます



三つ葉在宅クリニック



理念の共有や診療の質は、 どうやって確保しますか？



三つ葉在宅クリニックには、いろいろなタイプの先生がいると思いますが、理念の伝達や医師の在宅医療の向上に、どのような時間を設けていますか？

A

医師の数は現在17人になり、とてもにぎやかになりました。

平均年齢35歳、在宅医療への情熱を持った、若くて元気な医師ばかりです！

三つ葉では、複数の医師が理念を共有し、24時間365日、適切に対応できるように、医師間の情報共有に力を入れてきましたが、確かに、人数が多くなると、その方法も少人数のときとは変わってきます。最近の様子を、少しお伝えします。(中村・医師)



●医師間の徹底した情報共有(申し送り)

毎日2回、「カンファレンス」と呼ぶ医師の申し送り会議を行っています。

朝は、今日これから定期訪問に伺う患者さんのすべてのカルテを開け、現在のご様子、何か変化があった場合にそれぞれの患者さんが何を望まれているかや、介護の状況などを確認しています。

夕方には、その日に訪問した患者さんについて、もう一度状況を確認します。少し不安のある患者さんで、対応方法がいくつか考えられる場合などには、主治医以外も交えて話し合い、知恵を絞ります。

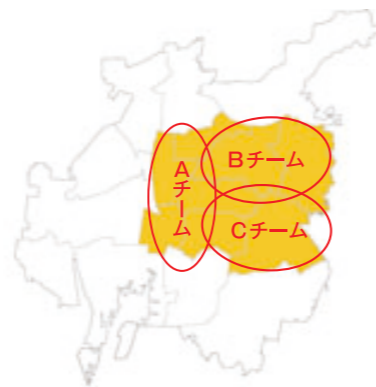
毎日のカンファレンスで、医師同士が密にコミュニケーションをとることで、三つ葉の理念も少しずつ全員に浸透させ、クリニックとしての診療の質を高いレベルで均質にしていこうとしています。言葉で理解するだけではなく、「こういう場合には、どうする」という、患者さんに対する行動に結果を出すことが、私たちの目標です。



●エリア・チーム制の発足

今年の春から、診療圏を3つの区域(エリア)に分け、4~5人の少人数医師チームで担当する方法に変わりました。医師の数が増えたため、きめ細かい申し送りはチームごとに行う方が効果的と考えたからです。現在、朝夕のカンファレンスは全体での申し送りと、チームカンファレンスの二部構成です。

すべての三つ葉の患者さんには、毎回訪問する主治医に加え、同じチームから副主治医を必ず決めていきます。そして主治医と副主治医は、どちらでも患者さんの望まれる対応が可能ないように、チームカンファレンスで常に綿密に情報共有しています。



●勉強会で、さらなる知識を

毎週金曜日の夜には、勉強会を行っています。

ここでは最新の医療や処方薬の情報、高齢者のための制度や人生にかかわるいろいろな事柄について知識を深めたり、総合診療の専門医を招き、少し難しい症例について、在宅での最も良い方法を考える症例検討会などを通じて、診療の質を高めることをめざしています。

クリニックの統合・移転も
チームワークと情報共有
強化の一環です。



(松井・医師)

声

このコーナーでは、患者さんからいただいたお便りを紹介しています。



生に励む日々

三つ葉でお世話いただくようになってから、介護が楽にも楽しくもなりました。

「生に励むか、死に励むか」。高齢ともなれば後者でしょう。しかし、若い先生の「…治ると思うがなあ…」とのつぶやきが、本音のようにも取れました。今、私は「いつまで続くかこの介護…」から、「治してみせよう介護で…」と励んでいます。



活かす介護のお手伝い

素敵なお言葉をいただきありがとうございます。一番の励みになります。いつも明るく仲の良いお二人ですが、お辛い時期もおありだったのでしょうか。

これからも活かす介護のお手伝い、ご一緒させてください。(清水・医師)



定期訪問の先生と緊急時の先生

緊急連絡時にすぐ対応してくださり、適切な処置をしていただけることに、ここから感謝しております。レギュラーで往診してくださる先生と、緊急対応してくださる先生との連携も完璧で、安心して毎日を過ごせております。



これからも支えています

ご主人は何度も危機に見舞われましたが、なんとか回復してここまで来られたね。奥さんも体調が万全ではない中、心細い思いをすることも多かったと思います。おうちで安心して過ごすことができるように、私たちもですが、ケアマネさんやヘルパーさんともより一層協力して、しっかり支えていきたいと考えています。(加地・医師)



母を看取って

90歳になる母を、三つ葉の先生方、訪問看護師さん、ケアマネジャーさんらの助けを借りて看取ることができ、感謝、感謝です。

母が亡くなってから、神谷先生に母の話をしたら、「もっと早くそれを知っていたら、いろいろなお話できたのに…」と言われ、患者に対する先生の優しい姿勢を知ることができました。ありがとうございます。



往年のお写真を拝見して

亡くなられてから、戦前だった女学校時代の旅行記のコピーをいただきました。お若いころの楽しそうなお姿を拝見し、いろいろお話してみたかったなあと思いました。ご冥福をお祈りしております。(神谷・医師)



三つ葉のスタッフ紹介

こんにちは、診療サポートの小泉です。夏休みは終わってしまいましたが、この時期に施設などに伺うと、小さな子どもさんが訪ねて来ているのによく遭遇します。医師は、そういう時には子どもさんにも話しかけたりします。



先日は、遠巻きにじっと医師の診察を観察していた小学校低学年くらいの女の子が、血圧計などの診療道具を私から受け取って、医師にしっかり手渡し始めました。

患者さんだけでなく、周囲を巻き込んでの楽しい診療に自分も参加できていることが嬉しくなります。

夏は暑く、冬は寒く大変なこともあります。日々の感動は、どんな美味しいおやつを食べるよりも幸せに感じます。

●診療サポートって、どんな仕事ですか？

三つ葉の診療サポートは、毎日、医師とともに患者さんのお宅に伺い、医師が診療に集中できるように、診療まわりの事務的な仕事を手伝っています。

訪問予定の管理や往診車の運転、カルテ入力補助、物品や書類の管理などを行います。

今月の三つ葉

みんなで勉強しています。…在宅医療テスト

三つ葉では、職員が在宅医療に関する知識を正しく身につけるべく、7月下旬に「在宅医療テスト」を実施しました。

医師やソーシャルワーカー、医療事務はもちろん、診療に関わっていない管理部門のスタッフまで全職員が対象で、医療だけでなく介護、施設のことなども含めた在宅サービス全般について、事前に手製のテキストを配って皆で勉強しました。

それぞれ、自分の専門分野には詳しくとも、少し離れたとなかなかわからないもの。在宅医療専門クリニックの職員として恥ずかしくないよう、最低限の周辺知識もしっかり身につけていきたいと思っています。



普段、医療保険に関する業務に携わっているので、その分野のことはよく知っていますが、介護保険についてはわからないことも多く、この機会に幅広く勉強できて、良かったです。(久田・医療事務部門 成績優秀者)